

サステナブル・フィッシャリー基金 2022-2024 プログラムの概要と助成金申請ガイド

I. はじめに

リソース・レガシー基金(RLF)は、MSC認証を主要なツールとして、小規模漁業や戦略的に重要な漁業の漁業改善の取り組みを支援することで、環境面で持続可能な漁業実践を推進するため、2002年にサステナブル・フィッシャリー基金(SFF)を設立しました。それ以来、持続可能な水産物のムーブメントは進化しており、フェアトレード認証や漁業改善プロジェクト(FIP)といった、MSCが求める水準の持続可能な漁業のレベルに到達するまでの道のりもSFFの対象となっています。

今日、水産業界のステークホルダー、擁護者、ジャーナリストなどは、国際漁業における人権の確保という新たな重要な焦点を確立し、環境面の責任と並んで持続可能性の概念のなかに社会的責任を組み込む必要性について大筋での合意を構築することに貢献しました。

本プログラムの20年の歩みにおいて、このような進化を通して、SFFは持続可能性を目指す漁業のパートナーとなり、漁業実践を改善する道を探り、審査、漁業改善プロジェクト、そして認証のコストを埋め合わせる手助けをしてきました。プロジェクトの規模に応じた助成事業により、SFFは、認証による漁業の持続可能性イニシアティブを強化・拡大し、世界のマーケットをより良い方向に変革することに貢献してきました。

2022年、漁業の持続可能性における社会正義と人権により焦点をあてることを目的として、RLFは再びSFFをローンチし、環境面の改善とともに、2021年5月にFisheryProgressに導入された「[人権と社会的責任の方針\(HRSRP\)](#)」を実施するための世界中のFIPを支援することにしました。

II. SFF助成事業の戦略

SFFは助成事業を通じて国際的な水産物生産における環境面での持続可能性と社会的責任を改善し、既存の独立した、持続可能性に焦点をあてた漁業認証と透明性のプログラムを促進・強化することを目指しています。

現在SFFが焦点をあてているのは、HRSRPの実施を通じて社会的責任を改善し、以下の基準を満たす、世界中のFIPです。

持続可能性へのコミットメント

このプロジェクトがフォーカスするプロジェクトは、以下のゴールと原則、それを達成する道のりへのコミットメントを示せなければなりません。

- 健全で生産的な魚類の資源量を実現し、海洋環境への漁業のインパクトを最小限にし、効果的な漁業管理システムを実施することを含む、漁業の環境的な持続可能性を改善すること
- 漁業における労働者の人権を尊重・保護し、漁業における人権と社会的責任についてのリスクを特定し、文書で公表し、改善すること
- FIPにおける漁業者、労働者、そして彼らの代表者の積極的な参加を支持すること
- 必要に応じて、申請者が改善を提案している漁業のコミュニティにおいて社会正義を向上させること
- 環境面および社会面でのパフォーマンス、発見、コーポレート・ガバナンスについて、透明な報告を公開することへのコミットメント

助成金の申請者は、FisheryProgressのレポートの要求事項([Resources for FIPs](#))と、[HRSRP](#)をよく理解してください。これらの要求事項についての質問はFisheryProgress (contact@fisheryprogress.org)まで。HRSRP

をFIPで実施するための個別支援に関心がある申請者は、the FIP community of practice (contact@fipcop.org)
にお問い合わせできます。

世界の漁業の多様性を代表する

SFF は、世界の水産物市場において、人権と社会的責任を漁業の持続可能性に不可欠なものとして制度化し、地域や漁業の種類を超えた HRSRP の実施に関する知識基盤の構築を加速させるため、HRSRP の幅広い国際展開を支援することを目的としています。

これらの目標を達成するために、SFFは、FIPに対する助成の多様なポートフォリオを構築する助成金決定を優先します。考慮される特性には、地理、対象魚種、漁法、仕向け先のマーケット、FIPえお主導する団体の規模、財政的必要性、漁業生産に占めるマーケットの割合（地元または海外）、サプライチェーンの区分、そしてFIPの参加者（協同組合、企業、業界団体、労働者の代表、非政府組織（NGO）、政府機関など）が含まれますが、その限りではありません。

マーケットへの影響力の有無

[FisheryProgress](#)での公開報告を通じて持続可能性を高め、最終的にはMSCやフェアトレードによって持続可能であると認証された漁業のマーケットインパクトを高めるようなプロジェクトが提案されること。このような漁業は、小規模であるか大規模であるかを問わず、以下のいずれかの性質を示す漁業が含まれます。

- 国内または国際的な透明性のある市場で取引される水産物を供給している。
- 大手小売業や外食産業が販売するブランドの水産物の供給源であること。
- 地域的に重要な水産物を供給していること。
- 競争圧力、または MSC やフェアトレードの基準の適用を示すことで、他の類似の漁業 による改善と認証を促していること。
- 認証や人権・社会的責任のリスク評価が、政府機関、水産物バイヤー、消費者などのステークホルダーの漁業改善や認証プロセスに対する信頼性を高めるであろう漁業であること。

環境と社会の改善を達成し、維持するための能力と熱心さ

SFFの資金を申請する者は、以下のことを実証することができなければなりません。

- 漁業関係者やその他の利害関係者の招集、政府機関との調整、プロジェクトの財政管理など、プロジェクトの重要な要素を実行するために必要な能力と人間関係。
- 助成金期間終了後も改善を維持できる可能性があること。
- SFF助成金の資金がどのような慈善目的に使用されるかを説明し、助成金期間終了時に完了した活動と支出を文書化することを約束するなど、助成金を受領するパートナーとして誠実であること。

触媒としての投資

SFF の資金は、HRSRP の実施を含む FIP の形成と推進を刺激するものでなければなりません。場合によっては、MSC やフェアトレードの認証取得に向けた、他の方法では実現できないかもしれない前進を含みます。

III. 対象となる申請者

対象プロジェクト

SFFの助成金は、[FisheryProgress](#)の枠組みの中で活動する世界中の新規および既存のFIPにHRSRPを組み込むことを促進します。これには新規FIPの設立や立ち上げの支援、既存のFIPが既存の作業計画に加えてHRSRPを実施する必要がある場合の支援も含まれます。

新規および既存のFIPに対して、SFFの助成金は、FIPで義務付けられる自己評価の結果に基づくHRSRPの必須および任意の構成要素の実施を支援します。例えば、SFFは、全てのFIP¹に義務付けられているコンポーネント1の自己評価の結果に関わらず、HRSRPコンポーネント1(苦情処理メカニズムの確立または改善、漁業者の権利の周知)、コンポーネント2(社会的責任評価ツールを用いたリスク評価の完了、結果の公開報告、フォローアップ作業計画の立案と実施)、コンポーネント3(コンポーネント1および2の最低要求事項を自発的に上回る)のFIPの完了を支援する予定です。

SFFは、以下のようなプロジェクトに助成金を提供したいと考えています。

- [コンサベーション・アライアンスのFIPガイドラインと定義²](#)に準拠し、HRSRPの必須コンポーネントと任意コンポーネントを明確に統合した、ベーシックFIPおよび包括的FIPの設計と立ち上げを行います。
- FisheryProgressに掲載されているFIPのうち、活動状況が良好で報告義務を果たしているものについては、SFFはHRSRPの必須コンポーネントと任意コンポーネントの完了に関連した特定の活動を支援しません。

SFFは、社会・環境改善への投資のための民間資金へのアクセスが限られている、またはプロジェクト費用が助成団体の収入に占める割合が比較的大きいなどの財政的制約が実証されたFIPからの申請を優先的に採用します。また、SFFは、必須または自発的にHRSRPのコンポーネント2と3の両方を実施することを明確に約束しているFIPからの提案を優先します。

SFFは、HRSRPの実施に伴うことを前提として、以下の要素を含むプロジェクトの提案も検討する。

- MSC 予備審査
- 戦略的に重要なMSCの本審査と再審査(限定的に)。
- フェアトレード審査
- その他、海洋保全を推進し社会的責任や人権に取り組むステークホルダーの参加やキャパシティビルディングなど、SFF全体のガイドラインに沿った漁業改善活動。

SFFは、複数のFIPに対する作業を提案する申請者の提案を、ひとつのまとまりの一部として考慮します。ただし、HRSRPの達成に関連するすべての要件が適用されます。

対象組織

次のような団体から提案を受けることができます。

- 漁業団体、漁業従事者、水産物団体。
- 漁業管理機関
- 学術・研究機関
- 漁業または機関と連携している非営利団体およびその他の非政府組織。
- FIPsの支援と持続可能性認証の推進を目的として漁業者と契約した民間コンサルタント会社。
- その他の団体については、ケースバイケースで考慮される場合があります。

過去にSFFの助成金を受けた団体で、最終報告書が承認され、助成金が終了した団体は、資金援助を申請する資格があります。このような申請者は、過去のSFFの助成金を特定する必要があります。

マッチング要件

¹ “人権と社会的責任のポリシー,” FisheryProgress.org. 6 ページ, “概要”

https://fisheryprogress.org/sites/default/files/FP_SocialPolicy_English_5.7.21.pdf

² FIPの主な構成要素は、サプライチェーンにおける民間セクターの参加、FIP参加者による漁業改善への財政的投資のコミットメント、期限付きの目標を定めた短期プロジェクト範囲の設定、予算と期限を定めた漁業改善作業計画の策定と実行、以下を含む進捗の定期的な追跡と報告、などです。1) 6ヶ月ごとに、活動の進捗とその結果を裏付け資料とともに [FisheryProgress.org](https://fisheryprogress.org) で公開すること、2) 12ヶ月ごとに指標スコアを更新し、スコア変更の裏付け資料を提供すること。

すべてのプロジェクトにおいて、少なくとも1対1のマッチング資金が必要です(例えば、1万ドルのSFF助成金に対して、1万ドルの外部資金が必要です)。

小規模または財政的に特に厳しい漁業については、SFFは現物支給を必要なマッチングの一部として個別に検討します。その他の申請者は、現金によるマッチングを実証することが期待されます。大規模な漁業や資本力のある漁業からの提案は、1対1の比率を超える現金マッチングを示すことで競争力を高めます(例えば、漁業参加者から2万ドル、SFFの1万ドルの助成金と並行して提供されます)。

注: SFFへの資金提供者(The David and Lucile Packard 財団)からの資金は、プロジェクトに対する申請者のマッチングの一部とは見なされない場合があります。

IV. 応募方法

SFFは、2022年、2023年、2024年に、年2回の助成金の申請を受け付け、対象となるプロジェクトを選択して助成金を交付します。

助成金を申請するためには、申請者はSFFの申請ワークシートに記入し、提出する必要があります([オンライン](#)で入手可能)。ワークシートには、プロジェクト予算のテンプレートが含まれており、申請者の財務および組織の健全性を示す特定の書類(以下に列挙)を添付する必要があります。参考までに、必要な添付書類のリストを含む申請ワークシートの構成要素は、以下のセクションVに記載されています。

2022年、SFFは2つの期間で申請書を受け付けます。

第1期:4月1日~5月8日
第2期:9月1日~10月1日

すべての申請書はRLFのスタッフによって審査され、RLFの外部パートナーによって追加審査が行われる場合もあります。最初の審査後、RLFのスタッフが競争率の高い申請者に直接連絡し、助成金支給の検討に進む前に、提案されたプロジェクトに関する追加情報や修正を要求する場合があります。

V. 応募条件とガイドライン

アプリケーションワークシートは[オンライン](#)で入手でき、ダウンロードして英語で記入する必要があります。参考までに、ワークシートの必須構成要素をここに示します。

応募者の概要

以下を記載してください。

- SFF 助成金の資金調達のために FIP を提案する組織の種類、および FIP 参加者(例:協同組合、業界団体、一企業、労働者代表、NGO、政府機関など)。
- 申請者が拠点を置く都市と国。
- 申請団体の規模、及びプロジェクト実施に関連する主任スタッフの資格概要
- 申請者の漁業において環境および社会的な改善に取り組む準備ができていること。

漁業改善プロジェクト(FIP)の説明

以下を提供または記述してください。

- FisheryProgressのFIPプロフィールへのリンク(該当する場合)。
- 漁業またはFIPの地理的地域、漁業の対象種、漁具の種類。
- マーケットおよびバリューチェーンの状況:漁業の漁獲物の典型的なバイヤーや加工業者と、バイヤーからの既存のコミットメント、典型的なマーケット(地元、国内または国外)、マーケットにおける当該漁業からの供給の割合、ターゲットのマーケットの追跡方法。
- プロジェクトの開始予定日と終了予定日を含む、資金提供を希望する期間。SFFの助成金支給期間は通常1年(12ヶ月)です。2年(24ヶ月)までの期間も検討されます。
- 助成金期間中に達成すべき主な目標やマイルストーン、FIPの長期目標など、資金提供を要請するFIPのタイプ(ベーシックFIPまたは包括的FIP)。
- 財政的な必要性:申請者がプロジェクトを完了するために助成金資金を必要とする理由。申請者の必要性を立証する証拠が望まれます。
- 他の関連グループまたは組織からのプロジェクト支援。
- プロジェクトに必要なマッチング資金の調達先と金額。マッチング・ファンドは、産業界、慈善団体、政府からの資金、またはフェアトレード・プレミアムからの資金を利用することができます。デビッド・アンド・シル・パッカー財団の助成金からの資金は、SFFの助成金のマッチング資金として使用することはできません。

評価やFIPについては、以下の点にご留意ください。

- 漁業がFIP、MSC、またはフェアトレードの持続可能性基準および規格を満たすことができる一般的な証拠はありますか？
- 申請者は、助成期間中、プロジェクトの進捗をどのように追跡しますか？
- FIPの実施において、申請者はどのように漁業者、労働者、代表者などの積極的な参加を確保するのですか？
- プロジェクトとその目標成果によって、漁業従事者はどのような利益を得ることができますか？
- どのような企業がFIPやその結果得られる認証に関与し、利益を得ようとしていますか？

FIPの追加要件:

- 新しいFIPの立案への助成を求める申請者は、申請書に、同じ漁業で進行中であることが知られている他の同様のFIPを明記しなければなりません。

- 資金提供の条件として、FIPの情報、関連する調査結果、成果物をすべて、FisheryProgressの公開要件³に沿ってアップロードすることを明確に約束することが必要です。FIPは、助成金の支給期間中、FisheryProgressにおいて良好な状態を保つことが期待されます(活動状態および報告義務の更新)。これを怠ると、助成金が打ち切れ、将来の助成金受給資格も危うくなる可能性があります。
- すべてのプロジェクトにおいて、助成金受領者は、RLFへの中間および最終報告書において、評価報告書や改善過程の最新情報を共有することが期待されています。

プロジェクトの予算と申請者の財務の健全性

申請ワークシートには、表形式の事業予算のテンプレートが含まれています。申請者は以下を含める必要があります。

- 給与、福利厚生、旅費、下請け業者、間接費など、プロジェクトの主な要素を含むプロジェクトの総費用。
- SFFからの申請額、およびSFF助成金による各予算項目への拠出予定額(RLFの最大許容間接費率は15%であることに留意してください)。
- マッチング資金(寄付の種類(現物または現金など)、資金源、マッチング資金を確保済みか未確定かを明記すること)。

申請者は、申請組織の健全性と支払能力を確保するためのRLFのデューディリジェンス(投資先の調査)を裏付けるために、以下の追加書類を添付する必要があります。

- 団体の予算。当年度の団体の詳細な予算を記載する。
- 財務諸表。監査済みの最近の財務諸表または同等の書類(貸借対照表および損益計算書)を提出すること。米国を拠点とする場合、団体の最新のIRSフォーム990のコピーを含める。
- 理事会メンバーのリスト。該当する場合は、理事会メンバーのリストと各人の略歴を提出してください。
- IRSレター。米国を拠点とする非営利団体の場合、申請者が501(c)(3)団体であることを確認する内国歳入庁からの書簡を提出すること。
- 財政スポンサーレターまたは覚書。財政スポンサーがいるプロジェクトの場合、その関係を明記した書類。

この必要添付書類のリストは、[申請ワークシート](#)にも記載されています。

提出方法

応募書類は、添付ファイルを含め、上記の期日までにSFFシニアプログラムコーディネーターRebecca Valdez (rvaldez@resourceslegacyfund.org)までEメールにてお送りください。

³ 助成金受領希望者は、[HRSRP](#)と同様に、FisheryProgressの報告要件([FIPのためのリソース](#)で入手可能)をよく理解しておく必要があります。これらの要件に関する質問は、FisheryProgress(contact@fisheryprogress.org)に提出することができます。HRSRPを実施するFIPのためのコホート指導に関心のある申請者は、FIPコミュニティ・オブ・プラクティス(contact@fipcop.org)に問い合わせることができます。